

平成 29 年度

今治市社協小規模多機能ゆいの村 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	10 人	人	人	13 人

前回の改善計画
利用開始をしてからも、新たに知った情報など申し送りや情報シートに追記して皆で情報共有しているが、利用開始後の初回ミーティングの時に、皆で本人・家族が必要としている支援について話し合い、統一したケアを行っていく。本人と家族の気持ちと同じ方向に向くように家族とのコミュニケーションにも力を入れる。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員間での情報の共有は良くできた。本人のニーズと家族のニーズが異なる場合に、気持ちの温度差を感じるので、もう少し初期の段階から家族さんを巻き込んだ支援ができればよかった。例えば、家族さんに心の余裕があれば一緒に来所して頂き、本人・家族・スタッフで一緒に過ごす時間を作ることでお互いが歩み寄れるものがみつかったのではないかな。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10			13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		13			13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	11			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	本人の情報やニーズ、配慮すべきこと等の情報はミーティングや申し送りノート、回覧等で随時情報の共有ができています。また、早く馴染んでもらえるように笑顔で接し、雰囲気づくりにも心がけている。家族さんにも一日の様子を送迎時や連絡帳で伝えることができています。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者さんによっては、これまでの生活や背景がほとんど見えないことがあり、関わり方に惑うことがある。また、本人と家族の思いが違う場合にもどう支援して良いのか戸惑い、利用者さんのペースにあっていないと感じながら関わることもある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	家族さんと初期支援の段階で利用者さんの状況を一緒に考える時間を増やしていく。(家族さんも切羽詰っている状況の方が多いので心のケアも大事にしながらかかわる。) 新規利用者さんにとっては、慣れない環境での利用となるため、一人ひとりのスピードに合わせた「戸惑わない利用」ができるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	11 人	1 人	人	13 人

前回の改善計画
<p>本人の輝きシートを充実させていく。本人の楽しみややりたいこと、思っていること等を会話や態度からキャッチして記入していく。輝きシートを常に活用しながら支援を行うことで、本人の本当の気持ちや思いに近づいていく。又、家族にも本人の気持ちを伝えながら、本人の気持ちを感じながら一緒に本人を支えて行けるような支援をしていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>利用者さんと接する中で色々な強みを感じるが、つつい輝きシートへの記入を怠ってしまった。チームで支援するうえで、利用者さん一人ひとりの強みの共有はとても大切なので、輝きシートをもっと活用していく必要があった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	12			13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		13			13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		13			13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	12			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>ミーティングやカンファレンスで話しあい、振り返りながら目標達成に近づけるように統一したケアができています。利用者さんとの会話の中から本人の思いや気持ちを知り、理解しようとしている。また、家族との関わりの中では、家族の意見も尊重しつつ本人の気持ちも伝えるようにすることで、家族と利用者さんとスタッフが共に前に向かっていけるように努力している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>利用者さんによってはその人の生まれた時代や性格もあり、本当の気持ちをくみ取ることが出来ていないと感ずることがある。 どうしても介護の手間のかかる利用者さんに気を取られて、落ち着かれている利用者さんの支援が行き届いていないと感ずることがある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>昨年と同様、本人の輝きシートを充実させていく。本人の楽しみややりたいこと、思っていること等を会話や態度からキャッチして記入していく。輝きシートを常に活用しながら支援を行うことで、本人の本当の気持ちや思いに近づいていく。又、家族にも本人の気持ちを伝え、本人の気持ちと一緒に感じながら本人を支えて行けるような支援をしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	12 人	1 人	人	13 人

前回の改善計画
在宅日の家での暮らし方に目を向け、日常生活をもっと豊かにしていく。そのためにも、利用者個々の 1 日の生活のリズムの聞き取りを行い、大まかな流れをつかむ。そこから、日課や楽しみ、困りごとや不安を聞いたり感じとったりしながら支援に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用者個々の 1 日の生活リズムを知るために 1 日の過ごし方の聞き取りを行い、大まかな流れをつかむことはできたが、一人暮らしで認知症が進行してきている利用者さんは、支援の難しさを感じた。近所の方や利用者さんを気にかけてくれている人に協力して頂きながら、十分ではないが在宅日の生活を柔軟に支える努力をした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		7	6		13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	11			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	2		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	8			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	9			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人・家族さんの気持ちや体調の変化に気づいた時は、皆で情報共有し、支援に結びつける事ができている。訪問・送迎・通い・泊りの時などに細かなことでも気づき感じたことは、ミーティングで取り上げ皆で話し合うことでよりよい支援につなげることができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者さんによっては、以前の暮らし方が判っている人と、そうでない人の差があり、暮らしの背景が見えない利用者さんは声にならない声を見過ごしているかもしれないと感じる。 排泄に関しては、本人の気持ちと実際に必要だと思われるケアがそぐわない場合があり、支援の難しさを感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日常生活において出来ることと出来ない事があるが、出来ていたことが出来なくなってきた時、どこまでだったら一緒に出来るか、また、本人の気持ちを確認し、スタッフで情報共有しながら、本人が無理なく持っている力を発揮できるように支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7 人	6 人	人	13 人

前回の改善計画
<p>地域での暮らしの支援というよりも、今回は家族とどう共に進んでいくかを考えたい。家族会を利用者さんの行事に併せて案内し、開催していたが、家族会単独で開催し、なるべく多くの家族に参加して頂けるようにする。スタッフも参加できるスタッフは参加するようにし、家族間同士でも情報交換、交流することでリフレッシュはもちろん、新しい活力に変えて本人・家族・スタッフで共にという絆を深めていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>行事等で家族に参加して貰う機会があったが、単独での家族会は開くことができなかった。社協が実施している在宅介護者の交流事業にはその都度案内したが、仕事をしている方、遠方の方、高齢の方が多くなかなか参加につなげることが出来なかった。</p> <p>利用者さんと同居している家族の方とは連絡帳や送迎時等を利用して情報交換できた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		11	2		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	4		13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9	4		13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		6	7		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>家族さんには送迎時や訪問時には様子を伝えたり、教えて貰ったりしながら情報共有をし、支援できている。近所の方や親戚の方にも協力して貰いながら地域で見守ってもらえるよう支援できている。</p> <p>地元のサロンにも参加できるように工夫したり、本人が参加したいと思っている地域の行事に参加できるように、地域の方と連絡調整したり、本人に当日電話したりしてサポートしている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>会う機会がほとんど無いので一人暮らしの利用者さんの家族との関わりが薄い。ケアマネジャーとの関わりだけではなく、事業所としてもっと一人暮らしの利用者さんの家族とも関わって一緒につながっていきたい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>一人暮らしの利用者さんの家族が帰省された時は、事業所のフロアで利用者・家族・スタッフが一緒になって、お茶を飲んだり話をしたりして一緒に過ごす時間を作っていく。そうすることで普段は離れていても、身近な関係になれるようにしていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	9 人	人	人	人

前回の改善計画	現状を維持しながら一人ひとりに柔軟な対応を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	一人ひとりのその時の状況に合わせた柔軟な支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	8			13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	8			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	9			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	10			13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること その時々状況に応じた支援ができている。 地域のつながりも保てるように、地域の行事やサロン等にも参加している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 泊りなどは本人、又は家族の意向通りにサービスを提供できない場合がある。(利用定員の都合上)
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 前回同様、現状を維持しながらニーズに合わせて一人ひとりに柔軟な対応を継続していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	人	人	13 人

前回の改善計画	<p>今後も地域にとって必要な場所であるために、積極的に地域行事には参加しながらつながりを広げていく。地域の方にも気軽に足を運んで頂けるよう、事業所を知って頂く取り組み(見学会の開催や情報誌等での事業所アピール、事業所でのイベント開催等)を継続して行っていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>積極的に地域行事に参加し、つながりを広げて行くことができた。地域の方にも事業所に来て貰える機会を作り、事業所を知って頂く取り組みもできたように思う。今後も継続して行っていきたい。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	9	3		13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	7	4		13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5	7	1		13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	10	1		13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>地域の伝統行事やイベントには積極的に参加している。事業所が実施するイベントや行事にも地域の方に協力して貰ったり、参加して貰ったりしながら事業所を知ってもらう取り組みをしている。他サービス事業所とも必要時には相談しながら適切なサービスが提供できるようにしている。</p> <p>中学生・高校生の職場体験やボランティア等も積極的に受け入れたり、自由な見学、情報誌で地域へのアピールもしながら、介護・福祉の拠点となるよう取り組んでいる。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域との合同消防訓練を毎年実施しているが、事業所がある地域の自治会や消防団、近隣住民、民生委員さんなどには協力してもらい実施しているが、家族の方に案内していないので、事業所の取組みを知ってもらい、信頼関係を構築していく上でも案内すべきではないか。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>毎年実施している地域との合同消防訓練に案内し参加して頂くことで、事業所の取組みをもっと知ってもらう。事業所が大事にしている「三人四脚」(どんな時も利用者・家族・スタッフが共に)に近づけていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

7. 運営

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	11 人	1 人	人	13 人

前回の改善計画  
今後もアンケート結果の振り返りを行うことと、利用者・家族だけではなく、色々な方から意見を頂く機会を作り事業所の質を向上させていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
利用者・家族のアンケートは毎年実施しており、アンケート結果も振り返りを行うことができた。ボランティアさんや来訪された方にもアンケートをお願いしたら、もっと色々な方からの意見が頂けたように思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	3	10			13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10			13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	1		13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	10	1		13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
スタッフ全員が意見を出しやすい環境であるため、ミーティング以外でも必要に応じて皆で意見を出し合い、情報を共有しながら前向きに取り組んでいる。  
外部評価を運営推進会議で実施するようになってから、地域の方からの意見を参考に計画を立て、取り組むことができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
特になし。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
地域で色々な活動をしている人(得意技を持っている人や、保健師さんや交通安全協会さんや趣味の活動をされている方)に声をかけて事業所の交流を増やし、開かれた事業所にしていく。その時に意見なども頂き、より良い事業所を目指していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	10 人	1 人	人	13 人

**前回の改善計画**  
ほんの些細なことでもリスクにつながると感じたことは、簡単ヒヤリハットを記入していく。日常のケアの現場にはいろんなリスクが潜んでいる。スタッフ全員が、それを予見しながら支援することで事故を未然に防いでいく。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
簡単ヒヤリハットを活用し、些細なことでもスタッフ皆が情報共有するしくみはできているが、振り返るともっとリスクにつながるような出来事はあったのではないかと反省に至った。もう一度自己のケアを振り返り、ほんの些細なことでもリスクにつながると感じたことは簡単ヒヤリハットを記入していくようにする。記入用紙の置き場所もすぐにとれる場所に変更することにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	2	9	2		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	3		13
③	地域連絡会に参加していますか	1	7	5		13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	12			13

**できている点** 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
研修に参加したスタッフは、ミーティングで報告し情報共有することで質の向上につなげている。リスクマネジメントに関しては、研修に参加したり、ヒヤリハットをミーティング等で話し合うことで事故防止に努めている。

**できていない点** 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
内・外部研修に参加する機会は多くあるが、日々の生活に時間の余裕が無かったり、資格取得への意欲が湧かず、積極的な研修参加ができていない。

**次回までの具体的な改善計画** (200 字以内)  
前回の改善計画は、自己評価ではできているつもりでも、ほんの些細なことでもリスクとして受け止めることができたのかを振り返ると、できていないという反省に至ったため、もう一度同じ計画とする。ほんの些細なことでもリスクにつながると感じたことは、簡単ヒヤリハットを記入していく。日常のケアの現場にはいろんなリスクが潜んでいる。スタッフ全員が、それを予見しながら支援することで事故を未然に防いでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 11 月 24 日 ( 9 : 00 ~ 11 : 00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 小池・内田・神原・西原・相原・越智・村上・藤原・矢野・藤原(香)・松田・木村・川崎 全 13 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	人	人	13 人

前回の改善計画  
認知症の進行により判断力や理解力が低下してきている利用者さんに対して、どんな時も人権が守れるように、行動等を見守り、早めの声かけや対応をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
集団での生活では、時に、認知症により判断力や理解力が低下している利用者さんの行動や言動で他者とトラブルになりそうな時もあるが、素早くスタッフが間に入り、対応することができた。  
地域の方へも認知症の正しい理解を広げるため、話し合う機会をつくって皆の人権が守れるように意識した取組みができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4			13
②	虐待は行われていない	12	1			13
③	プライバシーが守られている	9	4			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	7			13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	4			13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
人権・プライバシーに関しては、毎年内・外部研修を受けながら、自分自身を振り返り、制度に関する再確認と新たな知識と技術を身につけている。  
皆で個人の尊厳を守り、一人ひとりの状態に応じた介護や対応をするように心がけた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
スタッフも気をつけて駆けつけているが、トイレの戸を開けたまま排泄していたり、トイレに入っている利用者さんがいるにも関わらず、トイレの中まで入っていったりすることがあり、プライバシーが守れていないと感じることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
トイレの利用方法に関して、もう少しプライベート空間を意識した支援方法を見つけていく。以前に使用中の札を作って対応していたが、上手いかなかった。もっとわかりやすいしくみを考えてプライバシーが守られるトイレ環境を整えていく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 今治市社会福祉協議会	代表者	片上 修二郎	法人・ 事業所 の特徴	瀬戸内海のほぼ中央に位置しており、海と山に囲まれた自然豊かな島の中にゆったりと佇む事業所は、古民家を移築したもので木のぬくもりに溢れている。広々とした敷地の中には、グループホームやデイサービスセンター、近隣には保健センターもあり福祉の拠点となっている。 多くの職員が開設当初から勤務しており、チームワークを大切に笑顔で利用者さん一人ひとりと向き合いながら、夢のある暮らしの実現に向けて持っている力を発揮して頂けるよう支援している。
事業所名	今治市社協 小規模多機能ゆいの村	管理者	小池 由貴		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	1人	5人	0人	0人	1人	4人	1人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画に沿って取り組んでいるか、ミーティング等を通じて振り返りを行う。	スタッフ間で話し合いながら取り組むことができた。	真面目に、スタッフ一丸となって取り組んでいる。	
B. 事業所のしつらえ・環境	スペースの関係で運営推進会議を事業所内で実施するのは難しいが、時には中の様子をみてもらい、率直な意見を頂く機会をつくる。	運営推進会議を始める前に事業所を見学してもらったり、事業所の行事に案内する等知ってもらう取組みをすることが出来た。	あまり行かないのでわからない部分もあるが、特に気になることはない。	来所された方にアンケート調査を行い、事業所のしつらえや環境に対する意見を頂き、よりよい環境づくりに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	民生児童委員会や老人クラブの会に参加させて頂き、事業所を知って頂く取組みを積極的に行っていく。	老人クラブさんとは合同行事を行って交流することができた。民生委員さんとも家での暮らしを継続するためにもう少し連携できればよかった。		事業所のことをもっと知ってもらえるように、事業所に地域の方が来てくれるような工夫をしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者さんの繋がりがあある人と一緒に繋がることにより、今までの暮らしが継続でき、心配事なども共有できるようにしていく。	利用者さんが生きてきた背景を大切にしながら、つながりがある資源と繋がっていけるように努力した。	利用者さんが生活してきた地域の中で、四季を感じながら生き生きと生活できているように思う。	利用者さんが生きてきた背景を大切にしながら、繋がりがあある人とこれからも繋がりがあある生き生きと暮らしていけるような取組みを行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所で行事をする時などは運営推進会議のメンバーの方にも案内をして一緒に交流する。そこからの気づきなど意見を頂きながら改善に繋げていく。	事業所の行事には運営推進会議のメンバーの方にも案内をして一緒に交流することができ、意見を頂いたり、生活ぶりを知ってもらうきっかけ作りができた。	運営推進会議に特定の人の参加だけではなく、もう少し色々な人に参加してもらえる工夫ができれば良いのではないかと。	ボランティアの方や家族の方などにも参加していただき、日頃感じていることを会議の中で話し合い改善につなげていく。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の立地条件などを考慮しながら起こりうるであろう災害に備え細かな想定の実施訓練を実施していく。	災害と一言で言っても様々な災害に応じて対応できるように考えられる災害を想定した話し合いは進めているが、訓練実施にまではいかなかった。	地形や立地条件を考えて防災計画を立て、訓練を重ねながら計画も見直しをしていかなければならないと思う。計画を説明してほしい。	防災計画の説明を行い、予測される状況に応じた対応策と一緒に考えていく。